

報道関係各位

2024年3月11日

送電線鉄塔建設用クレーン 「クライミングクレーン」「ジブクレーン」レンタル開始

株式会社 アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、送電線鉄塔建設用クレーン「クライミングクレーン」と「ジブクレーン」のレンタルを2024年4月1日(月)から開始いたします。



クライミングクレーン



ジブクレーン

送電線鉄塔建設工事は1990年頃から1996年頃にかけて多く行われ、施工会社が当時から保有しているクレーンは老朽化していることが課題となっています。そのような中、2022年以降、東北地方と東京間を結ぶ送電線工事など、鉄塔の新設・建替工事が増加しており、アクティオはこの度、性能も向上した新型の「クライミングクレーン」「ジブクレーン」を導入いたしました。

今回の「クライミングクレーン」は送電線の鉄塔を建てるための専用クレーンになります。従来のマスト^{※1}はトラス^{※2}マストになっておりましたが、コラム^{※3}マストに変更したことで剛性力が増し、最大自立高さ28m、最大設置高さ150mまで上げることが可能になりました。鉄塔の建築方法はクライミングクレーンを中心に周りを覆うように鉄塔を組んでいきます。途中でクライミングクレーンが倒れないようにマストと鉄塔を支線(ワイヤー)で繋げ、支えます。最大自立高さが高くなったことで、この支線の間隔(10~22m間隔)が長くなり、取り付けの作業工数が削減されました。

「ジブクレーン」は、深礎基礎工事・資機材運搬等で長期間必要不可欠なクレーンとなります。従来機は仮設発電機を必要としていましたが、本機械はディーゼルエンジン搭載のため、仮設発電機が不要となります。操作は操縦席から操作する方法と無線リモコンで遠隔操作する方法の2通りあります。

アクティオは今後も「レンタルティンク」のノウハウを活かし、生産性を向上させる製品やサービスを提供していきます。

※1 マスト:タワークレーンを支える柱

※2 トラス:細長い部材同士を三角形に繋ぎ合わせた構造

※3 コラム:鉄骨柱に使用する円形や角形の断面をもつ筒型の構造

■「クライミングクレーン」特長

- ①最大自立高さ 28m、最大設置高さ 150m まで上げることが可能
- ②支線の間隔(10~22m 間隔)が長くなり、支線取り付けの作業工数削減

■「ジブクレーン」特長

- ①ディーゼルエンジン搭載のため、発電機が不要
- ②操縦席から操作する方法と無線リモコンで遠隔操作する方法の2通り

■「クライミングクレーン」スペック

型式	JCT036	
ブーム長 (m)	20	25
最大設置高さ (m)	150	
最大自立高さ (m)	28	
旋回角度 (度)	720	
電源(50/60Hz) (V)	200/220	
全長 (mm)	8,768	
全幅 (mm)	8,316	
機械総質量 (t)	40(揚程:100m、マスト 26 本の場合)	

■「ジブクレーン」スペック

型式	CSH36-5		
ブーム長 (m)	16.6	22.6	28.6
最大作業半径 (m)	15.0	21.0	26.0
最小作業半径 (m)	4.0	5.4	6.9
最大吊り上げ荷重×作業半径 (t×m)	2.8×13		
最大作業半径荷重×作業半径 (t×m)	2.4×15	1.7×21	1.1×26
全長 (mm)	8,486		
全幅 (mm)	8,486		
全高 (mm)	6,120		
機械総質量 (t)	16.1	16.35	16.55

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能を

どのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 産業機械事業部 担当者:杉村

TEL:03-6854-1416